

平成31年度学校評価自己評価表

学校教育目標：「自信と誇りを持ち、夢と意欲あふれる生徒の育成」

学校経営目標：信頼され誇りの持てる学校～学んでよかった 学ばせてよかった あってよかった 働いてよかった～と思える学校へ

評価計画

	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目・指標
信頼される学校	【繋がりを活かす学校】 学区内の小・中・高校との繋がり、地域との繋がりを活かし、生徒・保護者・地域からの信頼を深める。	【キャリアプランニング能力の育成】 ◇将来にむけて目的意識が持てる生活	○学区内の上級学校や地域との連携を活かし、第1学年から3年間の見通しをもったキャリア教育をPDCAサイクルにより実施する。	○生徒アンケートによる指標 ①「自分の将来について目標を立て、その実現にむけて実践している」80%以上
		○小学校や地域との有意義なかかわり	○小学校の教員との連携を密にして、9年間を見通し、キャリア教育を基盤にした学習指導や生徒指導を協働する。 ○学校支援ボランティアによる学習支援の工夫・充実を図る。	②「小学校に向くAC活動や出前掃除は有意義な活動である」95%以上 ③「地域(廿日市市・阿品台・阿品地区)に愛着と誇りをもっている」90%以上 ○教職員アンケートで①～③に向けて取り組んでいる教職員が90%以上にする。
確かな学力の育成	【授業を大切に作る学校】 授業力の向上により、確かな学力の定着と学習意欲の向上を図る。	【課題対応能力の育成】 ○学習意欲の喚起	○特別支援教育の視点に立った授業改善を行い、授業モデルにおいて、課題の設定を工夫し、かかわりや学び合い、振り返りの充実を重視した授業づくりを徹底する。	○生徒・教職員アンケートによる指標 ①「授業でもっと考えてみたい、調べてみたいと思うことがよくある」80%以上
		○家庭学習の充実	○阿中ノートに達成感をもたせ、家庭学習を習慣化させるように取組の充実を図る。	②阿中ノート提出率80%以上、生徒アンケート「阿中ノートをやった」という達成感を感じる」80%以上 ◆全国学力・学習状況調査のすべての教科目問題で通過率60%以上の生徒の割合が65%以上(市共通)
豊かな心の育成	【明るく思いやりのある学校】 積極的な生徒指導を推進し、豊かな心の育成を図る。	【人間関係形成能力の育成】 ○学校生活意欲の向上(自己有用感の向上)	○マイスター制度を活用して、生徒の自己有用感を高める。	○生徒アンケートで、①「自分を向上させるために頑張っています」肯定的評価90%以上、②「自分は周りの人から認められています」肯定的評価80%以上にする。
		○マイスター制度(挨拶・掃除・ボランティア・学び合い)の充実	○生徒会活動を中心にリーダーの育成を行い、学校行事や体験活動の充実を通してよりよい集団づくりを図る。	○マイスターバッジの取得率を1年生40%以上、2年生60%以上、3年生80%以上にする。 ○教職員アンケートで、マイスター制度の充実を図る取組を積極的に行っている」肯定的評価90%以上にする。
健やかな体の育成	【元気ががんばる学校】 基本的な生活習慣を確立させ、健やかな体の育成を図る。	【自己理解・自己管理能力の育成】 ○基本的な生活習慣の定着	○朝の挨拶から掃除の指導の徹底を図るとともに、家庭における生活習慣の指導を行い、基本的な生活習慣の定着を図る。	○生徒アンケートで肯定的回答「会釈をし、相手に聞こえる声であいさつをしている」95%以上、「掃除を頑張っている」95%以上にする。
		○行事等や部活動の活性化	○率先垂範し、マイスター制度の活用や生徒会活動を中心に、挨拶の推進や掃除や整理整頓の充実を図るとともに、定期的な点検によって身だしなみを正しく整えさせる。 ○行事・部活動において生徒と数多くかかわり、日常生活の充実につなげるように指導する。	○生徒アンケートで「阿品台中学校に誇りをもっている」肯定的評価90%以上にする。

◆市共通項目， ◎小中共通項目， ◇重点項目

【評価】 100≦(A:目標達成)
80≦(B:ほぼ達成)<100
60≦(C:もう少し)<80
(D:できていない)<60